OKI

パロル i-2

使用説明書

このたびは、パロル i をお買いあげいただきまして、ありがとうございました。
正しくご使用いただくため、ご使用の前にこの使用説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

技術基準認定品
認定番号 P95-0033-1

通信機械工業会電話機通話品質標準規格品

OKI 沖電気工業株式会社

ご使用になる前に、必ず確認してください。

この電話機を一般回線に接続する場合は、電話機を含めた直流抵抗が1700Ω以上となる場所ではご使用になれません。

ご使用にあたって

- 1回線あたり、この電話機のほかに2台の電話機が接続できますが、同時にはご使用になれません。また、この電話機からダイヤルしたとき、操作していない電話機のベルが鳴る場合がありますが、故障ではありません。

設置工事にあたって

- この電話機は構内交換機の内線(PBX内線)用電話機です。高損失加入者用の内線、PBXの長距離内線、共同電話、地域集団電話、公衆電話には使用できません。
- この電話機は2線式です。4線式の回線やPBXデジタル回線等種類の異なる装置に接続すると、故障や損傷の原因になります。
- ファクシミリの子電話として接続したときは、スピーカボタンや機能ボタンが使えない場合があります。またファクシミリ側で通話予約をご使用になると、PBXが誤作動することがあります。
- 放送局の近くや違法CB無線など、強い電波を受ける場所で通話中に雑音が入ることがあります。雑音が多くて困る場合は、お買上げ店にご相談ください。お客様のご要望により、有料にて対応致します。

安全上のご注意 ⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電話機コードを商用電源には接続しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢等、水類の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 内部の点検・修理はお買上げ店に依頼してください。

安全上のご注意 ⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、及び、ちりほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたり、けがの原因となることがあります。
- 直射日光のあたるところや湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると火災・故障の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- 落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
- 受話器用カールコードや、モジュラープラグで差し込まれているラインコードを強く引っ張らないでください。

※お手入れは乾いた柔かい布でふいてください。その際、シンナーやベンジン、シリコン系クリーナなどを使用しないでください。

保　証　書

OKI

電話機保証書

この製品をご使用中、取扱いについての説明書に従った正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容により1年間無料修理致します。

1. 修理は、お買上げ店に製品と本保証書をご持参、ご提示の上ご依頼ください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
3. 本書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買上げ店にお申出ください。
4. ご贈答品、ご移転等で本書に記入してあるお買上げ店に修理をご依頼になれない場合は、お買上げ店にお問合せください。
5. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げ店にお問合せください。

品　名		パロル i-2	形　名	DA2028H 電話機
お買上げ日		年　月　日		
保証期間		お買上げ日より1年間	対象部分	本　体
お客様	ご住所	〒 TEL	ご氏名	様
お買上げ店	住　所	〒 TEL	店　名	

OKI 沖電気工業株式会社 〒108-8551 東京都港区芝浦4丁目10番3号　電話(03)3454-2111(代)

保証規定

1. 保証期間内に正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、1年間無料修理をいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有料になりますのでご了承ください。
   (1)本保証書にお買上げ店名、お買上げ日の記入のない場合、あるいは字句を変更された場合。
   (2)お引き渡し後の移動、転落等により故障および損傷が発生した場合。
   (3)火災、地震、風水害、雷、その他天変地異、塩害、公害や異常電圧等による故障および損傷。
   (4)ご使用上の誤り、お客様ご自身による修理や改造による故障および損傷の場合。
   (5)保証書のご提示がない場合。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

設置上のご注意

- テレビ、ラジオ、蛍光灯などからなるべく離れた場所に設置してください。
- 直射日光の当たる場所や暖房機の近くは避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所は避けてください。
- 振動の多いところは避けてください。
- 極端に温度の高いところや低いところは避けてください。
- 高周波を発生する機械設備(高周波ミシンなど)や電気溶接機のあるところには設置しないでください。

故障かなと思ったら

「ツー」という発信音が聞こえない。	➡	電話機コードの抜け、接触不良が考えられます。
電話がつながらない。まちがい電話が多い。	➡	「ツー」という発信音をたしかめてからダイヤルボタンを押してください。
電話がつながらない。まちがい電話が多い。	➡	ダイヤル切替えはどうなっていますか? 回線に合せた設定にしてください。

付属品がすべてお手もとにあるか確かめてください

付属品

1. 使用説明書 ……………… 1部
2. 電話機コード ……………… 1本
3. 記入カード ……………… 1枚
4. 電話サービス案内板 ……………… 1セット

仕　様

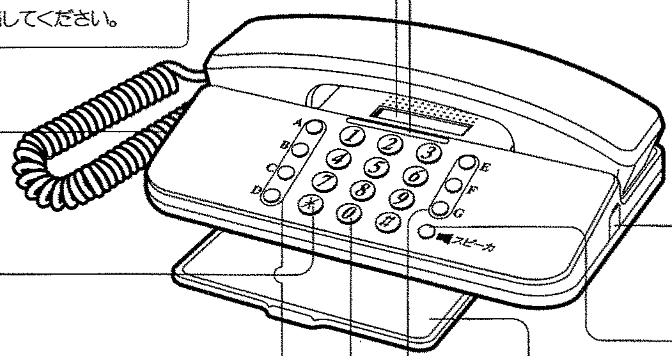
- ●電話機の直流抵抗　約320Ω(通話時)
  約380Ω(スピーカ受話時)
- ●寸法　約210(W)×128(D)×70(H)mm
- ●質量　約0.9kg
- ●メッセージウェイティングランプ点灯条件:Typ.DC150V/2mA
- ●使用電源　局電源/リチウム電池

この装置は、第2種情報装置(住宅地域または、その隣接した地域において使用できる情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

OKI 沖電気工業株式会社
本　　社　〒105-8460 東京都港区虎ノ門1-7-12(新虎ノ門ビル)　(03)3501-3111(代)
お問い合わせ先　〒108-8551 東京都港区芝浦4-10-3　法人営業本部　(03)3454-2111(代)
住所電話番号は変わることがあります。

ND21630(J)第2版
4YB3506-1611 Rev.2.0 1998年4月　Printed in Thailand

電話機各部の機能



記入カード/カード押え
（付属品を取り付ける）

着信表示ランプ/メッセージウェイティングランプ
電話がかかってきたときに点滅します。メッセージウェイティングランプ切替スイッチをONにしておくと、お客様へのメッセージがあるときに橙色に点灯してお知らせします。

録音ジャック（REC OUT）
通話を録音するときには、φ3.5ミニプラグ付コードを使用し、この端子とテープレコーダーを接続してください。

I-USEジャック
パソコン、ワープロ、ファクシミリなどと接続して通信を行うときに使用します。ただし、回転ダイヤル回線（DP）をご使用の場合は、ファクシミリを手動着信モードにしてお使いください。

トーンボタン
回転ダイヤル回線（DP）をご使用の場合、プッシュ信号（PB）を相手に送るときに使用します。

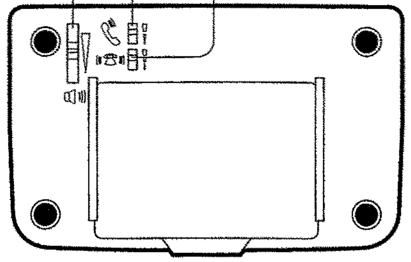
スピーカボタン
受話器を取らずにダイヤルするときに使用し、そのまま相手の声を聞くこともできます。

可変機能ボタン
あらかじめ、このボタン(7つ)に特番を設定しておくと、フロント、マッサージなどをワンタッチで呼出しできます。

オート「0」ポーズ
外線発信の1桁目が「0」の場合、自動的にポーズ（間）が入ります。
解除が可能です。

電話サービス案内板（付属品を取り付ける）
テレホンサービスの案内などを記入して使用します。自由に記入できますので、お客様へのさまざまなお知らせにもご利用になれます。

底　面



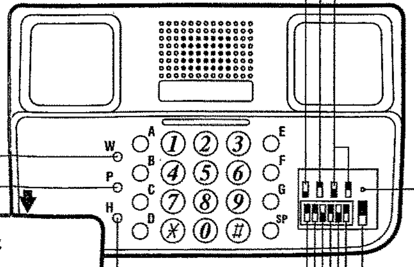
スピーカ受話音量調節ボリューム
スピーカの音量を調節するときにスライドして使います。

受話音量切替スイッチ
受話器から聞こえる相手の声を大きくするときに使います。「通常」「大」の音量が選べます。出荷時は「通常」に設定されています。

呼出し音量切替スイッチ
着信したときの電話機の音量を切り替えるときに使います。
「大」「中」「小」の3種類の呼出し音量が選べます。
出荷時は「大」に設定されています。

CRES.設定の場合
前の着信から約1分以内に着信があった時、呼出し音は設定した音量で鳴ります。

上面パネルをはずしたところ

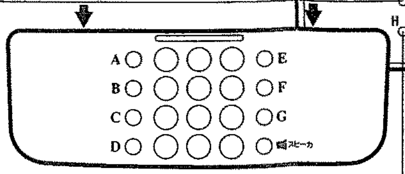


ダイヤル種類切替スイッチ 出荷時「MF」	プッシュホン回線（PB）でご使用の場合は「MF」に設定し、回転ダイヤル回線（DP）でご使用の場合は、ダイヤル速度により「10」または「20」に設定してください。
クレシェンドトーンリンガ切替スイッチ 出荷時「CRES.」	呼出し音が設定した音量までしだいに大きくなる「クレシェンド（CRES.）」にする場合に切り替えて使用します。「ON(通常呼出し音)」「OFF(呼出し音切)」にもできます。
ボタン切替スイッチ 出荷時「G」、「SP」	通常は可変機能ボタンに設定し、切り替えずにご使用ください。

リセットスイッチ（R）
この電話機を使用中、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたり、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、このリセットボタンを押してみてください（リセットボタンを押すと、あらかじめ登録した内容はすべて消えてしまいますのでご注意ください）。

メッセージウェイティングランプ切替スイッチ 出荷時「ON」	着信ランプにメッセージウェイティングランプの表示機能を兼用にするときに使います。 一般電話回線に接続して使用する場合は、必ずOFF（着信表示ランプ）に切替えてください。
送話音量切替スイッチ 出荷時「通常」	相手に送る声の音量を切り替えるときに使用します(通常(ON)/小(OFF))。
側音切替スイッチ （「1」、「2」どちらか常に「入」） 出荷時「側音1」	デジタル交換機と一般電話回線の場合は「1」、クロスバー交換機の場合は「2」を「入」にしてください。
着信感度切替スイッチ 出荷時「高」	呼出し音の着信感度を切り替えるときに使用します(「低」45V、「高」35Vの2種類)。
呼出し音色切替スイッチ 出荷時「ON」、「ON」	呼出し音色を電話機ごとに替えるときに使用します。 2つのスイッチの組合せで4種類の音色が設定できます。

ポーズボタン



パネルのはずし方
パネルをはずす場合は、↓印で示した凹部にマイナスドライバを差し込み、パネルを押し上げるようにしてはずしてください。

フッキング信号登録ボタン

登録ボタン

登録モード一覧表
出荷時の設定を変更したいときは、登録ボタンを押してから下表の項番をダイヤルボタンで押し、*か#ボタンを押すことで変えることができます。

項番	項　目	出荷時の設定		選べる設定
3	オート「0」ポーズ（回線種別）	有効　ON #（PBX内線）		禁止　OFF*（一般回線）
5	フッキング時間	600 mSEC　#		200 mSEC *
7	ワンタッチ/ツータッチ操作	ツータッチ操作 *		ワンタッチ ON#
8	可変機能ボタン（Fボタン）	A（F1）	11	任意　#で設定 消去　*で設定
		B（F2）	12	
		C（F3）	13	
		D（F4）	14	
		E（F5）	15	
		F（F6）	16	
		G（F7）	17	

（それぞれの操作は10秒以内にしてください。）

ご注意：
リセットスイッチ（R）を押すと、可変機能ボタンの「出荷時の設定」「ツータッチ操作」が消えますので、再設定してください。

例・可変機能ボタン「A」にフロントを登録する場合

続けて登録するとき

スピーカボタンを押す	登録ボタンを押す	ダイヤルボタンの8（項番）を押す	フロントの番号を押す	登録する可変機能ボタンAを押す	#を押す	最後にスピーカボタンを押す
○ スピーカ ▶	登録 ◎ ▶	⑧ ▶	登録は16桁まで可能 ▶	A ○ ▶	# ▶	○ スピーカ

ひとつの可変機能ボタンには、16桁まで登録することができます。17桁以上は無効になりますので、ご注意ください。登録のとき、ポーズ、トーン、フックはそれぞれ1桁と数えてください。

（登録を取り消すときは#の代わりに*を押してください）